富山高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	環日本海諸国語VIB(ロシア語)

科目基礎情報

科目番号	0114	科目区分	一般 / 選択
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	国際ビジネス学科	対象学年	3
開設期	後期	週時間数	4
教科書/教材	"ПОЕХАЛИ!" 2-1		
担当教員	山本 有希		

到達目標

1)２年次までの学習事項の再確認し、確実に身につける
2)学習した文法事項を用いて、自分のことを説明できる。
3)学習した文法事項を用いて、ロシア語で質問に答えることができる。
4)学習した表現を用いて、身近な事象を説明できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)
評価項目1	名詞、形容詞の格変化、動詞の体、話法などの文法事項を活用した文章表現がスムーズにできる。	名詞、形容詞の格変化、動詞の体、話法などの文法事項を活用した文章表現ができる。	名詞、形容詞の格変化、動詞の体、話法などの文法事項を活用した文章表現ができない。
評価項目2	形容詞の格変化、関係代名詞、話法などの文法事項を活用した口頭表現がスムーズにできる。	形容詞の格変化、関係代名詞、話法などの文法事項を活用した口頭表現ができる。	形容詞の格変化、関係代名詞、話法などの文法事項を活用した口頭表現ができない。
評価項目3	ペアワークやグループワークにおいて、積極的に表現を考え、発表することが良くできる。	ペアワークやグループワークで協力して表現を考え、発表することができる。	ペアワークやグループワークで協力して表現を考え、発表することができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	（目標と概要） 1)ロシア語初級文法の完成を目指す 2)単位認定には60点以上が必要である
授業の進め方・方法	教員単独による講義および演習 事前に行う準備学習：講義の復習および予習を行ってから授業に臨むこと。 授業外学習・事前：授業内容を予習しておくこと。
注意点	【授業改善策】 評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあっては、その評価を60点とする。 【備考】 1)遅刻3回で欠課1時間とする 2)授業計画、評価方法及び評価項目は変更することがある 3)定期試験（中間試験及び期末試験)を70点、その他(発表、課題、小テストなど)を30点として評価する

授業の属性・履修上の区分

☑ アクティブラーニング	☑ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	第7課	前期学習事項の復習
		2週	第7課	前期学習事項の復習
		3週	第8課	無人称文の用法を修得する
		4週	第8課	無人称文の用法を修得する
		5週	第9課	複数生格の用法を修得する
		6週	第9課	複数生格の用法を修得する
		7週	学習事項のまとめ	既習事項のまとめを行う
		8週	中間試験	既習事項の確認を行う
	4thQ	9週	1)答案返却 2)第10課	1)試験の返却および解説 2)成績評価の確認 3)動詞の体の用法を修得する
		10週	第10課	食及び健康に関する表現を修得する
		11週	第11課	身体状態に関する表現を修得する
		12週	第11課	身体状態に関する表現を修得する
		13週	第12課	健康に関する表現を修得する
		14週	第12課	既習事項のまとめ
		15週	期末試験	既習事項の確認を行う
		16週	成績確認	1)試験の返却および解説 2)成績評価の確認

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	0	0	0	10	100
基礎的能力	70	20	0	0	0	10	100

専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0